

I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	01 05 04 07	重点政策分類	食	所管部課	経済環境部商工観光課		
事務事業名	伊達ベジファーストプロジェクト促進事業			担当課長名	松山 和憲		
総合計画分類	CD	名 称			作成者名	米田 未来	
政策	01	産業			担当歴	平成 30 年度から	
施策	05	活がある工業・地場産業の振興			電話(内線)	534	
基本事業	04	地場産品の研究開発・販路拡大			事業年度	開始年度 H29 終了(予定)年度 -	
H29会計区分	1	一般会計			新継区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	
予算科目	款	7	商工費			経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> その他
	項	1	商工費			補助・単分区	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
	目	3	ウェルシーフード構想推進費			根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載
予算書上の事務事業名	伊達ベジファーストプロジェクト促進事業						

II 事務事業概要

対 象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	伊達市民や伊達市内の飲食店を使用する人		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担金	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 市民と協働	(委託・交付先等: 伊達商工会議所)			
目 的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	食事の初めに野菜を食べる「ベジファースト」を行うことで、市民の健康に対する意識の向上や参加飲食店の知名度向上を図る。								
	成 果 (outcome)	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
① 来店者アンケートの回答数		人	-	-	-	-	640	650	
② 来店客数増加の店舗割合	%	-	-	-	-	31.3	50.0		
③									
成果指標の考え方・計算根拠等	市内各店舗で実施しており、具体的な来店客数等を把握できないため、来店者アンケート①や参加飲食店アンケート②の結果を基準とした。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手 段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	参加飲食店の魅力あるメニュー考案や、飲食店を周遊する仕組みづくりを行うことで、集客力向上に努める。								
	活 動 実 績 (output)	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載							
1 参加飲食店舗数		店	-	-	-	-	16	16	
2 事業実施期間	月	-	-	-	-	3	3		
3									
活動指標の考え方・計算根拠等	伊達ベジファーストプロジェクト実施期間								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	事業を継続的に行うことにより「ベジファースト」の認知度が高まってきたが、市内外問わずさらに認知度を向上させ、飲食店を使用する仕組みづくりが必要である。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組み事項、設定した目標を具体的に記載								
	事業のPR方法を再考し、ベジファースト参加店を周遊させるため、スタンプラリーを行う。								
	上記の重点的取組み事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
改善点	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度)既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他							
	<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度)改善を検討中(又は実施中)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他	・SNSを活用した事業のPR ・ベジファースト参加店周遊スタンプラリーの実施						

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	01	05	04	07	重点政策分類	食	所管部課	経済環境部商工観光課
事務事業名	伊達ベジファーストプロジェクト促進事業				CD		担当課長名	松山 和憲
					07		作成者名	米田 未来

Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
直接事業費 (A) 千円					958千円	1,200千円
国・道支出金 千円						
地方債 千円						
その他特財 千円						
一般財源 千円					958千円	1,200千円
参考人件費 (B) 千円					113千円	113千円
一般職員 千円					113千円	113千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,638千円	5,638千円
投入人員 人					0.02人	0.02人
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,610千円	2,610千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
投入経費 C=(A+B) 千円					1,071千円	1,313千円
人件費比率 D=(B/C) %	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	10.5%	8.6%

Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)	
観点別評価	目的妥当性 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称：)	伊達産野菜の消費拡大、PR及び飲食店の集客力向上による地域経済の活性化のため、市の関与は必要である。
	有効性① 成果が出ているか？ <input type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない		この事業を行うことによって、食事の際に野菜を先に食べる「ベジファースト」の取組が市民に浸透してきている。
	有効性② 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい		今後も継続的に事業を行うことにより、多くの市内外の人々に「ベジファースト」の取組や効果を知らせるほか、飲食店の集客力向上による地域経済の活性化に繋がれる可能性がある。
	効率性 妥当な経費で事業が執行されているか？または、成果を落とさずに投入経費を削減することはできるか？ <input type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は難しい		参加飲食店から負担金をいただいているが、パンフレット製作費等周知に係る経費が主なため、経費削減は難しい。
	公平性 事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		参加飲食店はパンフレット等による店舗周知により受益しているが、負担金を支払っているため、公平である。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
総合一次評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	当該事業の実施により、伊達市で採れた野菜などの豊富な食材を使った「オリジナルメニュー」を参加飲食店で味わうことができ、伊達産野菜の消費拡大、PR及び飲食店の集客力向上による地域経済の活性化が期待できる。これらの理由から事業を継続して行う必要があると考えられる。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	豊富な伊達産野菜の魅力を飲食店と協力してPRし、集客力の向上を図ろうと、商工会議所が事業主体となって実施されており、伊達産野菜のイメージアップと合わせて、市民の健康促進にもつながる取組であることから引き続き支援していく。

◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業	総合計画統括CD 01 05 04 07			重点政策分類	食	所管部課	経済環境部商工観光課
事務事業名	伊達ベジファーストプロジェクト促進事業				事業CD	担当課長名	松山 和憲
					07	作成者名	米田 未来

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価	
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○		
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○	
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		○	
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○	△
			大きく向上できる	○	
			向上を期待できる	△	
	効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○	
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○		
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○	
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○	
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合であっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		○	

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性

		継続事業に期待する今後の方向性			
		成果		手段等 (手段・課題等の検証、改善に向けた取組み・検討等)	
		維持	向上	継続	改善
継続	コスト・事業規模	拡充			
		維持	○	○	
		縮小			
終了等		統合			
		休止			
		廃止			
		完了			

3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

伊達産野菜の魅力向上とその野菜を食事のはじめに食べるベジファーストの取組は、伊達市全体のイメージアップにつながる取組であることから、引き続き多くの方に参加してもらえるよう積極的なPRを期待します。